

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 在宅支援科に、訪問リハビリテーションを利用歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 在宅支援科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、愛仁会リハビリテーション病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

回復期病棟退院後の脳卒中利用者に対するみなし訪問リハビリテーションの効果を検証した後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 在宅支援科 副主任 重盛 大輔

3. 研究の目的

当院を退院後に当院のみなし訪問リハビリテーションを利用された脳卒中利用者様に対し3ヶ月間の実施によりADL (FIM) の改善を認めるか検証を行うこと。また、効果を認めたFIMの項目に対し改善した要因を年齢、1週間あたりの介入時間、発症から介入までの期間、退院から介入までの期間との関連性を明確にすることを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当院を退院後に当院の訪問リハビリテーション（みなし訪問リハ）を2018年7月から2022年11月までの期間で利用された方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、みなし訪問リハの介入期間、性別、年齢、診断名、既往歴、Functional Independence Measure (FIM)、1週間あたりの介入時間、発症から介入までの期間、退院から介入までの期間に関する情報です。

(3) 方法

主には、対象者のFIMの点数を介入開始時と終了時の2群にわけ、マンホイットニーのU検定を用いて統計解析を行います。また、有意差を認めたFIMの項目に対し改善した群と維持及び低下した群の2群に分け年齢、1週間あたりの介入時間、発症から介入までの期間、退院から介入までの期間をマンホイットニーのU検定を用いて統計解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被るこ

とは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

資金源及び利益相反等は特にありません。

8. 問い合わせ先

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町 5-7

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 在宅支援科 担当理学療法士 重盛 大輔

TEL : 072-683-1212 FAX : 072-683-1272 E-mail : shigemori.daisuke@aijinkai-group.com